

香川県港湾整備事業経営戦略

団 体 名	:	香川県
事 業 名	:	港湾整備事業
策 定 日	:	令和 8 年 3 月
計 画 期 間	:	令和 8 年度 ~ 令和 17 年度

※複数の港湾を有する事業にあつては、港湾ごとの状況が分かるよう記載すること。

1. 事業概要

(1) 事業形態（高松港）

法適(全部適用・一部適用) 非適の区分	法非適用	事業開始年月日	昭和43年6月
職員数	1 人	港 湾 区 分 (重 要 港 湾 等)	重要港湾
民間活用の状況	ア 民間委託	なし	
	イ 指定管理者制度	なし	
	ウ PPP・PFI	なし	

(1) 事業形態（詫間港）

法適(全部適用・一部適用) 非適の区分	法非適用	事業開始年月日	昭和46年4月
職員数	- 人	港 湾 区 分 (重 要 港 湾 等)	地方港湾
民間活用の状況	ア 民間委託	なし	
	イ 指定管理者制度	なし	
	ウ PPP・PFI	なし	

(2) 使用料体系

※施設区分の中で複数の使用料体系がある場合には、それぞれの内容を分けて記載すること。

使用料体系の概要・考え方		高松港(朝日地区・玉藻地区・サンポート地区・香西地区)、詫間港(詫間地区)において港湾整備事業を行っている。整備した野積場・荷役機械・上屋等を貸し付けることで使用料を徴収をしている。					
施設区分	使用料区分	現行(a)【円】	前回(b)【円】	改定率	前々回(c)【円】	改定率	
		(R元年改正)	(H26年改正)	(a/b)%	(H9年改正)	(b/c)%	
ふ頭用地	舗装 (1㎡につき)	5.21 (高松港)	5.12 (高松港)	1.02 %	4.98 (高松港)	1.03 %	
		4.67 (詫間港)	4.59 (詫間港)	1.02 %	4.47 (詫間港)	1.03 %	
	未舗装 (1㎡につき)	3.46 (高松港)	3.40 (高松港)	1.02 %	3.31 (高松港)	1.03 %	
		3.12 (詫間港)	3.07 (詫間港)	1.02 %	2.99 (詫間港)	1.03 %	
上 屋	荷さばき上屋(高松港) (1㎡につき)	1日	12.62	12.40	1.02 %	12.06	1.03 %
		15日~30日 継続使用	18.95	18.61	1.02 %	18.10	1.03 %
		30日以上	25.30	24.84	1.02 %	24.15	1.03 %
	燻蒸上屋				%		%
	旅客上屋 (1月につき)	1月	3,130	3,080	1.02 %	3,000	1.03 %

施設区分	使用料区分		現行(a)【円】	前回(b)【円】	改定率		前々回(c)【円】	改定率
			(R元年改正)	(H26年改正)	(a/b)%		(H24年改正)	(b/c)%
荷役機械	起重機	高松港コンテナターミナルのガントリークレーン	14,250	14,000 (新設)	1.02	%	—	%
		高松港コンテナターミナルのハーバークレーン	14,250	14,000	1.02	%	18,000	0.78 %
		詫間港コンテナターミナルの起重機	10,360	10,180	1.02	%	9,900	1.03 %
	ストラドルキャリア(高松港)	30分につき	5,330	5,240	1.02	%	5,100	1.03 %
	フォークリフト(詫間港)	30分につき	4,700	4,620	1.02	%	4,500	1.03 %
引	船				%		%	
貯	未	場				%		%
そ	の	他				%		%

※各項目の単位を明記すること

(3) 現在の経営状況

年間取扱貨物量 ※過去3年度分を記載	R4	310,714トン	R5	286,176トン	R6	288,635トン
年間船舶乗降旅客数 ※過去3年度分を記載	R4	1,911,033人	R5	2,147,776人	R6	2,421,137人
年間使用料収入額 (税込み) ※過去3年度分を記載	R4	172,695,000円	R5	185,718,000円	R6	162,866,000円
経常収支比率 (又は収益的収支比率) ※過去3年度分を記載	R4	91.8%	R5	94.6%	R6	95.4%
経費回収率 ※過去3年度分を記載	R4	23.6%	R5	25.1%	R6	24.2%
他会計補助金比率 ※過去3年度分を記載	R4	49.1%	R5	47.5%	R6	52.7%
有形固定資産減価償却率 ※過去3年度分を記載	R4	38%	R5	35%	R6	32%
企業債残高対 料金収入比率 ※過去3年度分を記載	R4	4.0%	R5	4.5%	R6	4.2%

【上記の収益、資産等の状況を踏まえた現在の経営状況の分析】

経常収支比率、経費回収率共に100%を下回っている。また、他会計補助金比率が50%程度であることから、他会計からの繰入金に依存している経営状況にある。今後もコンテナターミナルの整備を行い、荷役機能の強化等に一層取り組み、引き続き取扱量の増加に努める。

今後の課題としては、利用実績が少ない施設等の見直し(廃止・処分等)を検討するなど、経営の改善を図る必要がある。

2. 将来の事業環境

(1) 取扱貨物量等の見通し

高松港については、令和7年3月に目標年次を令和20年代前半とする港湾計画の改訂を行った。
また、高松港での物流の効率化や機能強化を図るため、高松港国際物流ターミナルの物流拠点化に向けた企業の誘致を推進するとともに、高松・神戸航路のフェリー貨物の増加に伴う船舶の大型化への対応と大規模震災時の緊急輸送機能を確保するため、複合一貫輸送ターミナル整備の促進に努めている。
高松港においては、今後取扱貨物量が増加することを見込んでいる。
詫間港においては、コンテナ貨物、バルク貨物の取扱量が減少傾向にあることから、県と三豊市の取り組みとして、詫間港コンテナターミナルの利用促進や活用方法等について検討している。

(2) 使用料収入の見通し

使用料収入の見通しについては、高松港の国際物流ターミナルや複合一貫輸送ターミナルの整備に伴い、取扱貨物量の増加が見込まれ、使用料収入は増加していくと考
えている。また、瀬戸内国際芸術祭が3年に一度開催されており、開催年度については、ターミナルビルでの上屋使用料について一定の増収を見込んでいる。
また、高松港香西(西)地区においては、現在野積場使用料等を料金収入としており、その財源をもとに事業をする際に借り入れた県債を毎年返済している。
詫間港については、ターミナルの活用方法等を検討し、使用料収入の増加に努める。

(3) 施設の見通し

適正な管理運営を行うため、老朽化施設の修繕方法を検討することで、維持管理コストの削減に努めつつ、施設の延命化を図る。

(4) 組織の見通し

現在、県職員が当該施設の管理事務等を行っており、職員給与費の大部分は一般会計から支出している。引き続き効率的な事業執行を行い、人件費の抑制を図る。

3. 経営の基本方針

ふ頭用地の整備による物流機能の強化及び大規模地震時の緊急物資輸送機能の確保を行う。

4. 投資・財政計画(収支計画)

(1) 投資・財政計画(収支計画)：別紙のとおり

(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

① 収支計画のうち投資についての説明

目標	施設整備による荷役効率の向上に加え、国内外の荷主や船社に対して積極的なポートセールス活動を実施することにより、現状の取扱貨物量の増加を目指す。
----	---

ガントリークレーンについては、令和13年度以降も、残耐用年数があるため、定期的な点検・修繕を行うことで長寿命化を図る。なお、ハーバークレーンについては、耐用年
数は経過しているが、定期的な点検、必要に応じた修繕を行っているところであり、引き続き、長寿命化に努める。ストラドルキャリアについては、1基を令和10年度にハイブ
リッド式に更新を予定している。
また、詫間港ジブクレーンについては、令和6年度に売却した。

② 収支計画のうち財源についての説明

目標	取扱貨物量等の増加により、荷役機械の利用促進を図るとともに、施設の使用料等の収入増に努める。
----	--

使用料については、社会経済動向を反映した料金設定を行うことが必要である。また、企業債などを活用し、今後、施設がより活用しやすいように計画策定を行っていく。
国際物流コンテナターミナル事業や複合一貫輸送ターミナル事業の整備が完了し、施設を供用することにより、今後の施設の使用料収入の増加を見込む。
また、3年に一度開催されている瀬戸内国際芸術祭の開催年度には、高松港ターミナルビルでの使用料の増収を見込む。
一方、施設の老朽化に伴い、施設の修繕も必要となってくることから、使用料で補いきれない場合には、他会計からの繰入金で補填する。

③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

<p>人件費、管理運営費等(施設の維持管理や警備委託については外部発注を行っている)は、大きな変動がないものと予測されるが、より効率的な運営に努める。</p>

(3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

※投資・財政計画(収支計画)に反映することができなかった検討中の取組や今後検討予定の取組について、その内容等を記載すること。
 また、(1)において、純損益(法適用)又は実質収支(法非適用)が計画期間の最終年度で黒字とならず、赤字が発生している場合には、赤字の解消に向けた取組の方向性、検討体制・スケジュールや必要に応じて経費回収率等の指標に係る目標値を記載すること。

① 今後の投資についての考え方・検討状況

民間活用	なし
投資の平準化	既存施設を適切に維持管理する。
その他の取組	なし

② 今後の財源についての考え方・検討状況

使用料	社会情勢等から見直しが必要であれば適宜改定を行う。
企業債	今後大規模修繕が必要となった際に、県債を財源とすることも検討する。
繰入金	適正な運用を行う。
資産の有効活用等による収入増加の取組	施設の利用促進を図るため、現状の利用状況の把握に努める。
その他の取組	瀬戸内国際芸術祭の運営者等との連携による施設の利用促進を図る。

③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

委託料	施設の警備や清掃について外部に委託を行っていく。
管理運営費	適正な管理運営を行っていく。
職員給与費	適正な職員給与費の積算を行っていく。
その他の取組	歳入が歳出を上回っている事業については一般会計に繰出しを行っていく。

5. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

<p>経営戦略の事後検証、改定等に関する事項</p>	<p>本経営戦略は、PDCAサイクルによる進捗状況等の評価・検証を行った上で、利用者の要請や社会環境の変化等を踏まえ、適宜修正を行っていく。具体的には、毎年の決算が公表された後、経営戦略の収支計画との乖離や他計画との内容の整合性を検証し、後年に影響が出てくる場合は、収支計画を修正する。</p>
----------------------------	---

投資・財政計画 (収支計画)

(単位:千円, %)

区 分		年 度	前々年度	前年度	本年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
		(決算)	(決算)	(決算)											
収益的収入	1	総 収 益 (A)	697,422	640,661	686,071	686,071	686,071	686,071	686,071	686,071	686,071	686,071	686,071	686,071	686,071
	(1)	営 業 収 益 (B)	185,718	162,866	164,259	164,259	164,259	164,259	164,259	164,259	164,259	164,259	164,259	164,259	164,259
		ア 料 金 収 入	185,718	162,866	164,259	164,259	164,259	164,259	164,259	164,259	164,259	164,259	164,259	164,259	164,259
		イ 受 託 工 事 収 益 (C)													
		ウ そ の 他													
	(2)	営 業 外 収 益	511,704	477,795	521,812	521,812	521,812	521,812	521,812	521,812	521,812	521,812	521,812	521,812	521,812
		ア 他 会 計 繰 入 金	350,555	353,965	370,775	370,775	370,775	370,775	370,775	370,775	370,775	370,775	370,775	370,775	370,775
		イ そ の 他	161,149	123,830	151,037	151,037	151,037	151,037	151,037	151,037	151,037	151,037	151,037	151,037	151,037
	2	総 費 用 (D)	365,511	319,693	314,200	313,458	312,687	311,915	311,319	311,181	311,043	310,909	310,779	310,686	310,621
	(1)	営 業 費 用	342,130	298,082	293,020	293,020	293,020	293,020	293,020	293,020	293,020	293,020	293,020	293,020	293,020
		ア 職 員 給 与 費	5,829	6,287	7,150	7,150	7,150	7,150	7,150	7,150	7,150	7,150	7,150	7,150	7,150
		うち退職手当													
		イ そ の 他	336,301	291,795	285,870	285,870	285,870	285,870	285,870	285,870	285,870	285,870	285,870	285,870	285,870
	(2)	営 業 外 費 用	23,381	21,611	21,180	20,438	19,667	18,895	18,299	18,161	18,023	17,889	17,759	17,666	17,601
	ア 支 払 利 息	5,268	4,854	4,231	3,489	2,718	1,946	1,350	1,212	1,074	940	810	717	652	
	うち一時借入金利息														
	うち資本費平準化債分														
	イ そ の 他	18,113	16,757	16,949	16,949	16,949	16,949	16,949	16,949	16,949	16,949	16,949	16,949	16,949	
3	収 支 差 引 (A)-(D) (E)	331,911	320,968	371,871	372,613	373,384	374,156	374,752	374,890	375,028	375,162	375,292	375,385	375,450	
資本的収入	1	資 本 的 収 入 (F)	64,000	19,000											
	(1)	地 方 債	64,000	19,000											
		うち資本費平準化債													
	(2)	他 会 計 補 助 金													
	(3)	他 会 計 借 入 金													
	(4)	固 定 資 産 売 却 代 金													
	(5)	国 (都 道 府 県) 補 助 金													
	(6)	工 事 負 担 金													
	(7)	そ の 他													
	2	資 本 的 支 出 (G)	172,033	449,367	365,890	368,927	368,592	360,863	269,470	267,310	265,355	263,418	258,230	253,043	251,855
	(1)	建 設 改 良 費	55,054	329,841	240,563	240,563	240,563	240,563	240,563	240,563	240,563	240,563	240,563	240,563	240,563
		うち職員給与費													
	(2)	地 方 債 償 還 金 (H)	116,979	119,526	125,327	128,364	128,029	120,300	28,907	26,747	24,792	22,855	17,667	12,480	11,292
		うち資本費平準化債償還金													
(3)	他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金														
(4)	他 会 計 へ の 繰 出 金														
(5)	そ の 他														
3	収 支 差 引 (F)-(G) (I)	△ 108,033	△ 430,367	△ 365,890	△ 368,927	△ 368,592	△ 360,863	△ 269,470	△ 267,310	△ 265,355	△ 263,418	△ 258,230	△ 253,043	△ 251,855	

